

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-2 消防防災対策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 砂防課長 江角 功 電話番号 0852-22-5205

事務事業の名称	土砂災害情報通報事業		
目的	(1) 対象	土砂災害危険箇所に住む住民及び市町村	
	(2) 意図	土砂災害に関する情報の提供により警戒・避難体制を整備し、土砂災害から住民の生命を守る	
事業概要	○市町村が避難勧告を発令する際の判断材料や住民の自主避難に資する「土砂災害警戒情報」や補足情報である「土砂災害危険度情報」を提供するための情報基盤を整備する。 ○県民の土砂災害防止の意識向上のため、防災学習会や研修会を開催する。		

2. 成果参考指標

(1) 指標名	土砂災害警戒情報等が地域防災計画の避難勧告の判断基準の一つとして記載されている市町村数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		15.00	16.00	18.00	19.00	
式・定義	市町村数	実績値	14.00	16.00	17.00	18.00		
		達成率		106.70	106.30	100.00		%
指標名	土砂災害防止学習会・研修会の受講者・参加者延べ人数(累計)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		7,000	8,700	15,300	17,000	
式・定義	参加延べ人数	実績値	5,300	9,472	13,252	16,707		
		達成率		135.30	152.30	109.20		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b)(千円)	37,931	27,900
うち一般財源(千円)	27,981	27,900

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

土砂災害防止の啓発のため、地域自治会、幼稚園、福祉事業者等を対象に実施した防災学習会の参加延べ人数は、目標値を上回っている。また、土砂災害防止の啓発チラシを全戸を対象に約25万枚配布したり、民放テレビ3局でのスポットCM（延べ132回）やケーブルテレビで啓発ビデオを放映するなどして防災情報に注意するよう呼びかけを行なった。しかし、平成26年度に県Webモニターにアンケートした結果では、6割の人が土砂災害のおそれのある区域「土砂災害警戒区域」や、身体等に著しい危害が生ずる恐れのある区域「土砂災害特別警戒区域」を知らないと回答している。平成26年度までに18市町村で土砂災害警戒情報等を避難勧告等の判断基準としている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

避難勧告等の判断材料になる「土砂災害警戒情報」の認知については、Webモニターのアンケート結果から、「前から知っていた」、「広島災害後知った」と答えた人が72%であった。平成23年5月気象庁が行った「防災気象情報の利用状況等に関する調査」の調査結果によれば、土砂災害警戒情報を「知っていた」と回答した人は12.5%であったことから、現時点における県民の認知度は上がっていると思われる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

土砂災害のおそれのある区域「土砂災害警戒区域」や、身体等に著しい危害が生ずる恐れのある区域「土砂災害特別警戒区域」について、6割の人が知らないと回答している。

②困っている状況が発生している「原因」

全国で毎年多くの土砂災害が発生しており、特に昨年の広島市や一昨年の伊豆大島町での土砂災害では、連日テレビ、新聞等で、「土砂災害警戒区域」等に関する報道内容も多くあったにもかかわらず、アンケート結果で6割が知らないと回答しているのは、ハザードマップ等による啓発周知活動が不十分なことにより、住民の防災意識が高まらないことにあると思われる。

③原因を解消するための「課題」

引き続きチラシや学習会などの啓発周知活動により、土砂災害の恐ろしさや、「どこが危ないのか（土砂災害警戒区域）」、「いつ危ないのか（土砂災害警戒情報）」などを知らせるとともに、住民にも「知る努力」を促していく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き、県及び市町村の広報誌やホームページ、チラシ配布、自治会等への防災学習会などによる広報・啓発を繰り返す。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）